



5月の「ふるさとくまさんデー」は 水俣・芦北地区から!

31日（火）は5月の「ふるさとくまさんデー」でした。水俣・芦北地区は温暖な気候で、不知火海の潮風を受けたおいしい農産物や海産物がたくさんあります。この日のメニューは「大野の鶏めし、わかめのみそ汁、きびなごフライ、サラ玉と甘夏のサラダ」でした。一般的な炊き込み御飯や鶏めしには、ごぼうや人参など他の具材も入っていますが、芦北町大野地区の鶏めしの具材は鶏肉のみ。お祝い事や行事のときなどに、この鶏めしでおもてなししてきたそうです。サラダ用玉ねぎは、2月下旬から6月頃まで“生でも美味しく食べることができる玉ねぎ”として全国的にも人気が高いですね。また、甘夏も平均気温の高い水俣・芦北地域沿岸は栽培に適した土地で、海風と太陽の恩恵を受けておいしく育ちます。きびなごはいわしの仲間ですが、身が柔らかいので手開きにするときれいに処理できます。菊陽からは遠く離れた地域ですが、どことなく海風が吹くのを感じながらおいしくいただきました。6月は八代からのメニューです。



前途洋々

感動いっぱいの運動会 ～ 応援ありがとうございました! ～

今年も予定どおりの日に、また、昨年よりも多くの方々をお招きして運動会を実施することができました！短い練習期間ではありましたが、日に日に6年生の声が大きく響いてきたり、練習中の真剣さが見違えるようになってきたりしたのは前号でお伝えしたとおり。そして迎えた当日。（子供たちはおうちの方の応援をとっても楽しみにしていたようです）子供たちのひたむきな力強い表情に心打たれたのは私ばかりではないと思います。「本番が一番よかった！」と断言できます。徒競争では、ゴールめがけて一生懸命地面を蹴る子供たち。1～3年生の表現では、心から楽しそうに全身を使って踊る子供たち。応援団の演舞では、リーダーの6年生はもちろんのこと、後方に控える4・5年生も負けじと声を張っていました。低く腰をかがめながら「かっこよさ」を追求して踊りきった「菊陽ソーラン」。日々の変化を見てきた私たち職員が、心から「本当にみんな頑張った！」と言える一日となりました。感動しました。一生懸命な人を見ると私たちはどうしてこんなに勇気をもらえるのでしょうか。子供たちに心から「ありがとう！」と伝えたいです。間違いなく南小の「一体感」を感じることができました。今後も、様々な学びの中で、「南小だからできた」「南小でよかった」という体験の一つでも増やしていきたいです。



とっても可愛かった1～3年生のダンス！ノリノリの様子で、見ているこちらもワクワクしました。



腰を落として踊ることでかっこよく見えるソーラン。特訓の成果が十分見られる出来になりました。

大きく成長した6年生。中学校へ向けて、更に大きくはばたいてくれるでしょう！お疲れ様でした！



リレーはハラハラドキドキの連続。駆け込んでくる前の走者の順位で、待つ位置も入れ替え。

